

あさくち 議会だより

No.55

令和4年11月1日発行



鴨方
空手道 SP

浅口
空手道 SP



金光
剣道 SP



鴨方
剣道 SP



寄島
剣道 SP



令和4年 9月定例会

- 9月定例会 ②
- 委員会レポート ④
- 市政を問う！一般質問 ⑦

9月定例会

9月定例会は、9月6日から9月22日までの17日間の会期で行われました。

ココに
注目!!

天草公園体育館・ふるさとかもがたプラザ LED照明へ改修 補正予算額3,763万円

公共施設の老朽化対策、脱炭素化を推進するため、天草公園体育館とふるさとかもがたプラザ（ビッグハット）にLED照明を導入する



5億8,170万円の増額補正予算を可決

一般会計予算総額は154億3,044万円（前年度同期比1.9%増）

歳出の主なもの

※1万円未満を切り捨てて表記しています。

事業名	事業の概要	補正予算額
電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業	価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯への支援として、国の施策により、住民税非課税世帯等に、1世帯当たり5万円を給付する	1億9,886万円
新型コロナウイルス感染症対応社会的環境整備事業	公立園（保育所、認定こども園、幼稚園）のインターネット環境を整備するため、保育室等への無線アクセスポイントの整備やタブレット端末の購入を行うほか、公立小・中学校及び公立園の保護者と職員の連携強化を図るため、相互連絡システムの導入等を行う	1,556万円
地域医療介護総合確保基金事業補助金	地域包括ケアシステムの構築のため、介護施設等の創設を条件に行う広域型施設の大規模修繕・耐震化等を行う事業者に対し、補助金を交付する	1億2,884万円
新型コロナウイルスワクチン接種事業	新型コロナウイルス感染症対策として、ワクチンの追加接種を行う	1億3,981万円

歳入の主なものは、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業費補助金1億9,160万円などです。

主な議案

認定

○令和3年度各会計決算の認定

昨年度の決算報告を受け、市議会として認定するもの。

閉会中の委員会を引き続き審査を行うこととしました。

継続
審査

人事

○人権擁護委員の推薦意見

人権擁護委員に筒井誠浩氏を推薦することについて、適任としました。

適任

請願

○消費税インボイス制度の実施延期を求める意見書の提出を求める請願

私は賛成です

手

沖原有美議員

中小企業や個人事業主は、この制度によってさらに負担を強いられることになる。コロナ禍や物価高騰の面からも制度導入を当面延期するよう地域の声を国へ上げるために賛成する。

不採択

不採択

○選択的夫婦別姓制度の法制化を進める意見書の提出を求める請願

私は賛成です

沖原有美議員

夫婦同性を法律で義務付けしているのは日本だけ。姓の変更は仕事や社会生活を送る上で、さまざまな不便や不利益をもたらしている。

○日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める意見書採択を求める請願

私は反対です

手

竹本 寛議員

今日まで平和に暮らしてきたのは、アメリカの核兵器の抑止力によるところがある。核の傘に守られている日本が核兵器禁止の声を上げられるのか。今は慎重に状況を見守るべき。

私は賛成です

桑野和夫議員

2021年に核兵器禁止条約が発効し、核のない世界に向けた国際的共通認識を作り上げた。唯一の被爆国である日本が参加を拒否することは世界の流れに背を向ける行為である。

不採択

議案に対する賛否

本定例会で審議した議案に対する各議員の賛否は次のとおりです。 [○] 賛成、[●] 賛成でない、[-] 不参加、[欠] 欠席 ※議長は採決に加わりません。

議案名	議員名	井上邦男	香取良勝	大西恒夫	藤澤 健	桑野和夫	加藤淳二	佐藤正人	伊澤 誠 (議長)	藤井立子	石井由紀子	山下周吉	沖原有美	早苗ネネ	竹本 寛	斎藤貴士	妹尾義信	議決結果	
発議第2号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担率引き上げに係る意見書について	○	○	○	欠	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
承認第8号	専決処分した事件の承認(和解及び損害賠償額の決定)	○	○	○	欠	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第53号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正	○	○	○	欠	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第54号	岡山県西部地区養護老人ホーム組合の解散に関する協議	○	○	○	欠	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第55号	令和4年度一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	欠	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第56号	令和4年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	欠	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第57号	令和4年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	欠	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第58号	令和4年度水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	欠	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第59号	令和4年度下水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	欠	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第60号	令和4年度一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	欠	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
諮問第2号	人権擁護委員の推薦意見	○	○	○	欠	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	適任
請願第1号	消費税インボイス制度の実施延期を求める意見書の提出を求める請願	●	●	●	欠	○	●	●		●	●	●	○	○	●	●	●	●	不採択
請願第2号	選択的夫婦別姓制度の法制化を進める意見書の提出を求める請願	●	●	●	欠	○	●	●		○	○	●	○	○	●	●	●	●	不採択
請願第3号	日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める意見書採択を求める請願	●	●	●	欠	○	○	●		○	○	●	○	○	●	●	●	●	不採択
陳情第1号	精神保健医療福祉の改善に関する陳情	●	●	●	欠	○	●	●		●	●	●	○	○	●	●	●	●	不採択
陳情第2号	「すべてのケア労働者の大幅賃上げを求める意見書」の採択を求める陳情書	●	●	●	欠	○	○	●		●	●	●	○	○	●	●	●	●	不採択
陳情第3号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担率引き上げをはかるための、2023年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	○	○	○	欠	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択



委員会レポート

総務 文教 常任委員会

委員長

藤井 立子

副委員長

妹尾 義信

委員

沖原 有美

石井由紀子

伊澤 誠

加藤 淳二

令和4年8月2日(火)

所管部局の出席を求め、調査を行いました。

公立幼稚園の3年保育について

女性の就業率の高まりや共働き世帯の増加、幼児教育・保育の無償化等により、低年齢児の保育施設への入園希望は増加傾向にある。

市では令和2年4月から金光幼稚園で3年保育を開始した。鴨方東・鴨方西の両幼稚園でも保護者や地域の方からの要望が多く、令和5年度からの実施に向けて準備を進めている。

入園募集を10月3日から31日まで行い、広報紙やホームページ、各園での募集チラシ掲示で周知を図る。

Q 鴨方・金光の幼稚園がこども園にならない理由は。



A

こども園移行は給食を提供する施設、給食調理室が大きな課題として残っている。

Q

幼稚園と保育園は管轄が違う。小学1年生になった時に弊害があるのでは。

A

教育委員会では、5歳児と小学1年生をつなげる接続カリキュラムを、現場の先生方と相談しながら作り取組んでいる。

令和4年9月15日(木)

定例会で当委員会に付託された議案と請願1件、陳情1件の審査を行いました。

一般会計補正予算(第4号)所管分について

新型コロナウイルス感染症に対応した環境整備事業として、保育所・こども園・幼稚園にインターネット環境を整える予算を計上。

また、老朽化対策や脱炭素化推進のため天草公園体育館・ふるさとかもがたプラザ(ビッグハット)にLED照明を導入する予算も計上。

Q

補正予算の中にある新婚生活支援事業はこういった事業か。

A

低所得者の婚姻に伴う新生活の支援で、夫婦の合計所得400万円未満が対象。引越越し費用や家賃等について、30歳未満は60万円、30歳以上は30万円を上限として補助するもの。昨年度からの事業で、昨年度実績は4件。

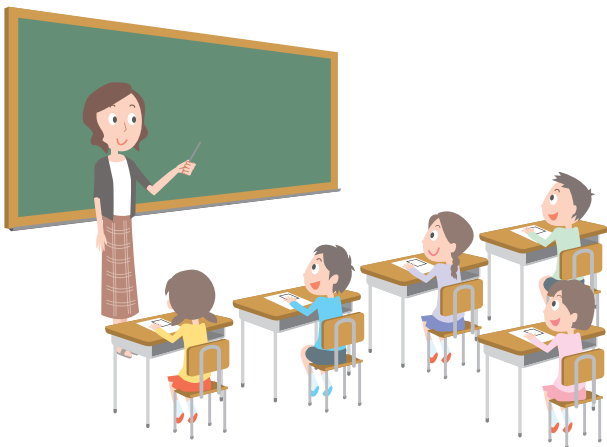
説明を受け、可決すべきものと決定した。

日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める意見書採択を求める請願

令和4年8月19日に原水爆禁止岡山県協議会から提出のあった本請願については、願意が適当であるため、委員会では採択することに決定した。

教職員定数改善と義務教育費国庫負担率引き上げをはかるための、2023年度政府予算に係る意見書採択の陳情

令和4年7月22日に岡山県教職員組合笠岡浅口支部から提出のあった本陳情については、願意が適当であるため、委員会では採択することに決定した。



民生 常任委員会

委員長
佐藤 正人
副委員長
桑野 和夫
委員
山下 周吾
大西 恒夫
井上 邦男

令和4年8月3日(水)

継続審査としていた請願1件、陳情2件について審査を行いました。

消費税インボイス制度の実施延期を
求める意見書の提出を求める請願

令和4年5月24日に西備民主商工会から提出のあった本請願については、「基本的に消費税は皆払うべきものであって、誰かが減免されるようなものではないので不採択」とする意見と、「この制度で一番被害を受けるのは中小企業や零細企業であって、コロナ禍で影響を受けている中小企業を守るため採択」とする意見に分かれた。起立採決の結果、委員会では不採択とすることに決定した。

精神保健医療福祉の改善に関する陳情
「すべてのケア労働者の大幅賃上げを求める意見書」の採択を求め
る陳情書

令和4年5月26日に岡山県医療労働組合連合会から提出のあった本陳情については、起立採決の結果、委員会では

は不採択とすることに決定した。

執行部からの報告事項

- マイナンバーカードの主な活用事例
保険証としての利用（初回のみ登録が必要）
- 「マイナポータル」を利用し、子育てをはじめとするオンライン申請や行政機関からの情報を収集
- 公金受取口座を登録すれば、給付金等の申請・受け取りが簡素化
- 転出証明書の交付を受けることなく転入・転出が可能に（2023年1月末を目前に導入予定）

○安心みまもりシール交付事業

認知症で徘徊する高齢者を早期発見、保護するためQRコード付きシールを配布。発見者がこれをスマホで読み込むと家族の人にメールで位置情報が自動的に送信される。

令和4年9月16日(金)

定例会で当委員会に付託された議案と請願1件の審査を行いました。

一般会計補正予算（第4号） 所管分について

介護施設の整備や介護従事者の確保に関する事業を行う事業者に対する補助事業に1億2884万円を計上。財源は全て県からの補助金で、対象の事業所はあるかの家リハビリテーションセンターである。



いるかの家リハビリテーションセンター

その他、新型コロナウイルスワクチン接種事業、ごみ収集車へ啓発標語のラッピングを行う費用、金光一般廃棄物最終処分場の電気代等を計上。

Q 金光の最終処分場の電気代を補正する経緯は。

A 契約していた新電力会社が経営破綻したことによるもので、新たに契約する会社はどうしても基本料金が高い。今後の電力消費量を考え、不足分を計上するもの。

説明を受け、可決すべきものと決定した。

選択的夫婦別姓制度の法制化を進める意見書の提出を求める請願

令和4年8月18日に新日本婦人の会浅口ひまわり班から提出のあった本請願については、「昨年9月に不採択としている。何ら情勢は変わっていないので不採択」とする意見と、「今はジェンダー平等の変化の時代。日本はジェンダー指数が低いので声を上げるため採択」とする意見に分かれた。起立採決の結果、委員会では不採択とすることに決定した。

産業建設 常任委員会

委員長

香取 良勝

副委員長

藤澤 健

委員

齋藤 貴士

竹本 寛

早苗 ネネ

令和4年8月4日(木)

所管施設の視察を行いました。

国道2号玉島笠岡道路について

令和7年度中に全線開通予定で、すでに倉敷市玉島阿賀崎から浅口金光インターチェンジまでの区間は完了している。



今回視察したのは、生石川橋下部工事、六条院中地区改良工事の工事現場。この道路は岡山県西部地域で発生している慢性的な交通混雑の緩和や周辺地域との連携強化、地域の発展に資することが期待される。

最終的には笠岡バイパスを抜け、福山へと通じる地域高規格道路、倉敷福山道路となる。

令和4年9月20日(火)

定例会で当委員会に付託された議案の審査を行いました。

一般会計補正予算(第4号) 所管分について

職員の共済費、会計年度任用職員の共済組合負担金に係る経費を計上。また、花火大会の中止に伴う財源更正や土木費として下水道事業会計出資金を計上。

説明を受け、可決すべきものと決定した。

水道事業会計補正予算(第2号)について

電気代の高騰により、唐船ポンプ場、金光西川尻ポンプ場に係る動力費の補正予算を計上。

説明を受け、可決すべきものと決定した。

下水道事業会計補正予算(第2号)について

電気代の高騰による動力費の補正及び一般会計からの出資金を収入するもの。

説明を受け、可決すべきものと決定した。

令和3年度竹川組合歳入歳出決算の認定について

令和4年3月31日をもって竹川組合が解散したことに伴い、令和3年度決算の認定を構成市の議会に求めるもの。歳入歳出差引額は事務の継承先である竹川用水協議会へ引き継いでいる。

説明を受け、認定すべきものと決定した。



一般質問 市政を問う!

9月定例会では、13人の議員が一般質問で市政を質しました。^{ただ}

質問者	質問項目	質問者	質問項目
香取 良勝	○盗水について、その後の経過説明を求める ○議会選出の監査委員について問う ○市長は公人として市民に対して公平な行政を行っていると思っているのか	加藤 淳二	○水道料金の滞納について ○ごみの減量化と循環型社会の推進について
桑野 和夫	○体育館等の公共施設へのエアコン等の設置について ○スポーツ少年団の現状と今後の方向について ○災害時における避難行動要支援者の個別計画について	石井由紀子	○浅口市で幸せを感じ、暮らし続けていくための町づくりの施策について ○協議会型住民自治組織について ○浅口ふれあい号利用者の安全について ○健康福祉センター浴場の今後について
佐藤 正人	○線状降水帯について ○市民の命を守る防災まちづくりについて	大西 恒夫	○議会と執行部の在り方について ○金光地区の給水について
妹尾 義信	○支所の統合について ○障害者福祉について	藤井 立子	○遊園地について ○成年後見制度について
竹本 寛	○サル痘の対応について ○消防団について	山下 周吾	○浅口市の情報発信について ○浅口ふれあい号と公共交通の今後について ○浅口市の景観保全について
斎藤 貴士	○子ども議会について ○防災基本条例の制定について	早苗 ネネ	○金光地区の時報について ○アメニティパーク丸山公園について
沖原 有美	○給付型奨学金制度について ○新型コロナウイルス感染症対策について ○人工透析患者の交通費助成について		

盗水についてその後の経過説明を求める



香取 良勝



問 栗山康彦の名前で窃盗、盗水で告訴をしていたが、不起訴処分になっている。その後の検察の経過はどのようなものか。

玉島区検察庁から「告知書、7月28日、貴殿には窃盗事件について、7月14日、起訴しない方針であります」と不起訴処分の報告があった。

上下水 市は水道水の窃盗被害として、令和3年9月21日、犯人は不明とした被害届を玉島警察署へ提出した。告訴はしていない。

市長 市は警察署に被害届を提出しただけ。間違いない。被害届を出しただけで、岡山県警、検察から窃盗として取り調べを受けることはない。検察庁が勝手に告訴をして私を取り調べたのか。

市長 何度も申し上げるが、香取議員が窃盗した、あなたが犯人だということは一度も公表したことはない。

問 市には顧問弁護士が2名いるが、弁護士料は1年でいくらか。

企財 それぞれに税別で年間60万円を支払っている。

問 前は1人の弁護士で50万円だった。今は2人で120万円。これは市民の税金である。市長に不利になるから弁護士が多いほうがいいと考えているのか。

企財 平成23年4月から2名体制。顧問弁護士は長期的に同じ弁護士に委託することが効果的と考える。

問 水道水の料金は市が管理するもの。未納がいくらあつてどのように集金に行っているのか。水道料を払っていないのは盗ったことと一緒にではないのか。

上下水 水道を利用されている方もいろいろな事情により水道料金が未納となっている方がいるが、盗水とは別ものである。



桑野 和夫

体育館等の公共施設へのエアコン等の設置について

問 市内の体育館や武道館でのエアコンの設置状況は。

教育次 市内15館すべて設置していない。

問 今後設置する予定は。

教育次 選挙の投票票所と避難所を兼ねた8施設を優先に検討したい。

市長 エアコン設置は多額の費用が必要になるので、国の財政措置等を鑑みながら検討したい。

スポーツ少年団の現状と今後の方向について

問 スポーツ少年団の数と団員数の推移は。

教育次 令和2年度が26団471人、3年度が25団466人、4年度が25団447人となっている。

問 減少の要因は。

教育次 少子化やスポーツの種類、習い事等の多様化が考えられる。

問 団員の募集に関して、教育委員会としての支援は。

教育長 引き続き団と連携して広報活動に努め、子ども祭などで団の取組をPRする場を設け、団員数の増加につなげたい。

災害時における避難行動要支援者の個別計画について

問 要支援者名簿の登録者数と個別計画の作成者数は。

健福 登録者は1675人で、全員に個別計画を作成している。

問 個人の状況や、誰がどのようにに支援するかまで計画されているか。

健福 個別計画には細かい状況を記載しており、2名の支援者の名前を書いている。

問 市としての方針は。

市長 自主防災組織の設置を促進し、個別計画を活用した訓練のアドバイスも行っている。高齢者等の災害弱者がスムーズに避難できるように、地域防災力の向上に努めていく。



佐藤 正人

線状降水帯について

問 線状降水帯という気象用語を頻繁に聞くようになったが、市の認識は。また、非常に大事になってくる避難者の警戒レベルとの関連性は。

企財 線状降水帯は積乱雲が線状に帯びた状況で、数時間間にわたって同じ場所に停滞することで大雨をもたらす。基準の一つとして、3時間の積算の降雨量が100ミリ以上の分布域、また面積が500平方キロメートル以上の場合に発表される。また、警戒レベルについては、気象庁が発表する情報をもとに避難情報を発令する。

市長 線状降水帯は市単位での発生予測は難しい状況であるが、県や気象台との連携を密にして正確な情報を発信できるように取組んでいく。

市民の命を守る防災まちづくりについて

問 市の取組と各地域の自主防災組織への支援や連携はどうなっているか。金光町八重地区が住民防災のモデルになっているようだが、取組については。また、河川の雑木や雑草など、災害時に備えて非常に危惧されるが、市の対応は。

企財 現在、市内の自主防災組織は77組織結成されており、専門職員を雇用し、自主防災活動の活性化に努めている。八重地区の特徴的な活動としては、避難行動啓発看板を作成しており、13の各組合において避難のタイミングや避難場所など、お互いに顔の見える小さな組合単位で活動している。

産建 河川については、地元関係者と協議の上、随時対応している。

市長 地域の災害特性に応じたきめ細やかな体制をつくり、地域防災力の強化を図っていききたい。県や地域住民と連携し、河川の適正な維持管理を進めていく。



支所の統合について

問 平成30年に策定された本庁総合支所のあり方に関する基本計画は、当初令和2年度中にスタートする予定だったもの。令和4年度中に延期されたが、いつ実施されるのか。

企財 平成24年度より本庁と総合支所、分室のあり方について検討を進め、調査研究を行ってきた。しかしながら、新型コロナウイルスへの対応を最優先としたため、令和2年5月に新体制のスタートを当面延期とし、検討を中断している。

市長 今後は最新のデジタル技術を活用することで、柔軟で利便性の高いサービス提供体制を構築していく。デジタル行政の推進を最優先に、改めて内容を検討していく。
問 当初の計画では、職員や役職者の削減などによる財政

効果が年間1億4000万円ほどであった。今の流れであればどのくらいの効果が見込めるか、試算はされているか。

企財 支所の有効的な利用も含め、時代に合った機構改革などを進めていく中で、財政効果についても改めて検討していく。

障害者福祉について

問 市内の障害者雇用の現状は。また、市から依頼している仕事はあるか。

健福 令和4年4月1日現在、就労継続支援A型事業所は46人、B型は82人。一般就労は市内17の企業で32人の障害者雇用が行われている。委託している業務は、健康福祉センター周辺の除草作業、天草公園内の花の植え付け作業、中央公民館などへのプラントナーの借り上げである。

市長 障害者の就労については、その能力や適性に応じた支援が必要である。今後も引き続き関係団体との情報共有と議論を深め、実態やニーズに即した支援策を検討していく。



サル痘の対応について

問 天然痘ワクチンが発症の予防や重症化予防に有効となっているが、天然痘ワクチンは市内の医療機関で接種することは可能か。市の対応は。

健福 8月末現在で国内でも4例の感染事例が確認されており、天然痘のワクチンがサル痘に感染した後の発症予防や重症化予防に有効であるとされている。しかし、天然痘ワクチンの定期接種は現在終了している。国では現在、サル痘に対する天然痘ワクチン接種について検討している段階のため、浅口市内の医療機関で接種することは不可能。

県の保健所が担当であることから、感染者情報は市に届かない。市の対応として、国や県の通知に基づき、市民の皆さんが正しく予防できるよう正しい情報を提供していく。

消防団について

問 火災発生時の緊急情報メールに、消火栓の位置などの水利情報が添付できないか。

企財 常備消防からの緊急情報メールを登録団員に一斉送信している。水利情報の添付は、技術的には可能であると思われるが、検討が必要との回答。引き続き要望していく。消防水利マップも消火活動に役立てていただきたい。

問 総務省消防庁では消防団協力事業所制度の推進を行っている。市の制度推進は。優遇措置の対応は。

企財 消防団に協力している事業所に対し、平成28年12月からこの事業の運用を開始。現在、市内に4事業所を認定し、表示証を交付している。優遇措置は現在行っており、今後、他の自治体の取組も参考に研究していきたい。

市長 消防団協力事業所制度についても引き続き推進していきたい。今後消防団体制の整備と充実強化に取組む。数々の提案に対し要望や研究をしていきたい。



子ども議会について

問 市内の中学生、高校生参加の模擬議会を開催しては。

企財 市では、子どもたちの意見を市政の参考とするため、市長が中学校へ出向き、座談会を毎年行っている。

市長 定期的に中学生対象のアンケート調査を実施。今後、小学校の児童とも意見交換を行いたい。これまでどおり座談会を中心にしていく。

防災基本条例の制定について

問 市に防災基本条例はあるか。

企財 地域防災計画はあるが、防災基本条例は制定していない。

問 消防団員の確保難や高齢化で地域の防災力の低下が懸念される。災害時の対応や減災意識を深める指針が必要で

は。
企財 災害対策基本法に基づき浅口市地域防災計画を策定。盛り込まれた減災の考え方を防災の基本指針としている。

問 防災ジェロントロジーを基本に、自主防災組織への支援が必要では。

防災ジェロントロジー
災害に対する脆弱性は、人のライフサイクルによって異なるという考え方

企財 自主防災組織による要配慮者や避難行動要支援者への支援の必要性は認識している。まだ組織を設立していない地区があるため、設立や設立後の活動支援を中心に行っている。今後は要支援者との関わり方の支援も行っていく。

問 市民、事業者、行政が果たす責務を明確にし、連携して減災に向けたまちづくりを進めるため、防災基本条例を制定しては。

企財 まずは、指針としている地域防災計画に基づいて防災対策にあたる。防災基本条例の制定は今後研究する。



給付型奨学金制度について

問 県・各自治体が行っている奨学金制度の状況は。

教育次 県内19の市町で対応型もしくは給付型の奨学金制度を実施している。

問 市独自の給付型奨学金制度を創設してほしい。

教育長 中学3年生の保護者に対し、県の奨学金制度・育英会等の各種団体の奨学金制度を案内しており、まずはこちらの制度をご利用頂きたい。

新型コロナウイルス感染症対策について

問 市内の医療体制の状況はどうなっているか。

健福 8月末現在で12の医療機関が発熱外来を実施している。

問 市内の自宅療養者の相談内容と県の食料支援の状況は。また、令和3年9月議会で可決した自宅療養者への生活支援はどうなっているか。

健福 昨年8月に相談窓口を設置し、10件以上の相談があった。ほとんどが食料や生活必需品の調達についてであり、県の配食サービスを案内した。また、社協のフードバンクから物品の提供を1件行った。

人工透析患者の交通費助成について
問 この事業の周知はどのようになっているか。
健福 人工透析患者の身体障害者手帳交付時に、前年の所得税非課税者には月額2500円、それ以外の方には月額1500円を助成する制度の説明を、窓口にて個別に行っている。

問 交通費負担軽減のために助成額を増やしてほしい。
市長 県内の15市全てが類似制度を行っており、そのうち6市が所得制限を設けているが、本市は設けていない。助成額の増額は考えておらず、これまでの制度を継続していく。



水道料金の滞納について

問 滞納状況は怎么样了らうのか。

上下水 令和4年3月末時点の未収金は、現年度分約405万円、過年度分約2623万円、合計約3028万円となっている。

問 滞納を解消するための取組は怎么样了らうのか。

上下水 納期までに納付が確認できなかった方に、督促状を発送している。納付が確認できなかった場合、毎年6月、12月に催告書を送付し、支払いを促している。電話連絡や訪問、分納誓約などでも滞納解消に努めている。

問 一般的な場合で水道水を使用できる条件は。

上下水 市役所等の担当窓口にて水道使用開始届を提出することで、使用できる。

ごみの減量化と循環型社会の推進について

問 ここ数年の市のごみ処理量と再資源化の状況は。

生環 3年間の比較で、可燃ごみが579トン減、不燃ごみが267トン減、資源ごみと粗大ごみの合計で873トン減となった。再資源化率、リサイクル率は0・9ポイントの上昇。

問 家庭から出るごみの水分量は推定できるか。

生環 令和3年度の可燃ごみの処理量から計算すると、生ごみの量は約3800トンで、その水分量は約3000トンと推測される。

問 ごみの減量化を進める上で、市の取組や目に見える目標は。

生環 資源回収推進団体報奨金制度や生ごみ処理機補助金制度、粗大ごみ戸別収集事業などを実施している。令和10年度にはごみの総排出量削減目標を一人一日当たり913グラム以下、リサイクル目標を24%以上とすることを目指している。



浅口市で幸せを感じ、暮らし続けていくための町づくりの施策について

問 岡山県は2021年に自殺死亡率が全国第2位になった。市として自殺者を出さないために取組んでいる事は。

健福 市のHPには精神科医による心の相談のほか、健康相談、介護や法律相談等に関する窓口を一覧にして掲載している。

問 市内に悩みを相談できる場所やその仕組みは。また利用できない人への対応策は。

健福 命の門番としてのゲートキーパーの養成研修に60名以上の市民が受講しており、さまざまな場所にて変化に気づき、声をかけられる取組を進めている。また厚労省のHPにある命の電話や心の相談ダイヤル等、さまざまな電話相談の窓口を紹介して

いる。

問 町の景観について、危険な場所や修繕を要する箇所の把握は。またその優先順位は。

産建 土木委員や地元の方々の通報と職員のパトロールで把握に努めている。簡易な作業はその場で即対応。機能を発揮できない状態の施設は、優先順位が高いと捉えている。

協議会型住民自治組織について

問 組織の内容、登録数は。

企財 町内会の自治組織、子供会や老人クラブ、PTA、民生委員等、活動が異なる主体が連携して地域の課題について話し合いながら、問題解決に向けて取組む組織である。現在市への登録はない。

問 この組織の立ち上げをもっと進めては。

市長 それぞれの自治会が持続可能な活動をしていく上で大変重要なものであると認識している。行政からの押しつけではなく、住民皆様でよく話をしながら進めていく必要があり、今後もコミュニティ活性のため支援を行っていく。



議会と執行部の在り方について

問 議会と執行部は車の両輪であり、車体は市民を乗せた浅口市であると考えている。議会と執行部がよく話し合っていて政を進めなければならないと思うが市長の考えは。

市長 共に市民から選ばれた市長と議会が独立・対等の立場に立ってお互いを尊重し、牽制し合うことで均衡を図りながら公正な行政を確保し、市民の福祉向上と市の発展という共通目標の達成を目指している。よりよい市政実現に向けて切磋琢磨していきたい。

問 二元代表制における適正な関係の下、是々非々で議論を深めるべきだが、現時点では少し違和感を持っている。

市長 政治の課題と解決策は現場にあると考えており、市民に寄り添いながら市政運

営を進めている。お互いの役割を果たし、力を合わせて浅口市の発展に尽力していきたい。

金光地区の西南水道企業団からの給水について

問 令和4年3月議会では今後の需要とバランスを見据える必要があるとの答弁だったが、今後どのようにするのか。

上下水 施設の老朽化による修繕・更新に備え、将来の最適な施設配置及び水運用について、金光地区を含む市全域を見据えた上で検討していきたい。

問 西南水道企業団からの給水も検討しているのか。目標期限を決めることも必要ではないか。

上下水 金光地区も含んだ市全域の検討なので、可能性とということではあるが検討している。

市長 実際に予算をつけて検討に入っており、着々と前に進んでいる。浅口市で決断できることだけでなく倉敷市、笠岡市等も関係していることなので、できるだけ早く結論をだしていきたい。



遊園地について

問 公園機能だけでなく、防災対策の拠点になるような遊園地を造ってはどうか。

産建 多機能な公共オープンスペースとして都市公園というものがある。浅口市において標準的な都市公園は現在整備済みと考える。

市長 都市公園のさらなる整備の予定はないが、生活に密着した小さな公園については、今後の検討課題である。

成年後見制度について

問 法定後見制度と任意後見制度の違いは。

健福 法定後見制度は、判断力が十分でなくなつてから裁判所が選定した後見人を利用するもので、任意後見制度は本人が元気なうちに後見人を決めておくもの。

問 後見制度の利用者数は。

健福 令和元年度73人、2年度72人、3年度71人。

問 利用者増加のための中核機関である浅口権利擁護推進センターはどのようなものか。

健福 令和3年4月に浅口市社会福祉協議会の中に設置した。制度の周知や相談、後見人の候補者を選ぶ支援をしている。

問 中核機関を設置することによる相談件数の推移は。

健福 設置前の令和元年度43人、2年度46人、設置後の3年度72人と増加している。

問 市民後見人の登録者数は。

健福 令和3年度末現在、32人の方が登録しており、26人の市民後見人が活躍している。

問 成年後見制度の課題は。

健福 利用申請から時間がかかること、本人の判断能力が回復しない限り利用中止ができないこと、報酬費用が最低2万円以上かかることなど。

問 今後の市としての取組は。

市長 必要な人が適切に制度を利用できるよう周知や支援を行うとともに、課題の解決に向けて尽力したい。



山下 周吾

浅口市の情報発信について

問 あさくちメール、浅口LINEの登録者数は。

企財 メール登録者数は、令和4年9月1日時点で2672件。公式LINEの登録者数は令和4年9月1日時点で25633件。

問 メールやLINE、ホームページを使って市民に何をどのように周知したいのか。

企財 新型コロナウイルス感染症に関する情報や各種イベント、手続案内や市政運営方針、各種施策など必要な情報や市政の情報を分かりやすく、適切なタイミングで周知していきたい。

問 LINEに窓口業務機能がある自治体の研究を行い、使い勝手をよくする考えは。

市長 デジタル戦略課を中心に研究を行い、今まで以上に市民の利便性向上につながる

るようにしていく。

浅口ふれあい号と公共交通の今後について

問 公共交通についての会議を行ったか。

企財 大きな見直し予定もないため、開催していない。

問 ふれあい号の運行位置や状況をホームページやスマートフォンで確認できるようにする考えは。

企財 費用対効果や全体的に利用者の利便性向上に資する方策も含め、今後検討する。

浅口市の景観保全について

問 水利組合などが行っていた水路管理や、地域ボランティアによる景観維持ができなくなった場所は今後増えていくと考えられる。現状をどう捉えているか。今後の対策は。

産建 従前同様の施設維持管理作業がかなわない事態が発生していると認識している。どこまでの管理で施設の機能が維持できるのかを見定め、対策をしていくことが必要と考える。



早苗 ネネ

金光地区の時報について

問 時報が中止になった経緯は。また、12時の時報を再開してほしいという住民の声があるが可能か。

金支所 金光総合支所の消防半鐘台に設置してあったスピーカーのチャイムの音が令和元年10月ごろから徐々に悪くなり、聞き苦しいとの声が多くなった。修繕を検討したが、費用が高額になると同時に、時報の音で健康被害を訴える声もあり令和元年12月に停止となった。

企財 再開について、現在、災害時の情報伝達手段の一つとして、屋外拡声機の整備を進めており、それを利用した時報の運用も検討している。なお、金光地域には13局の設置を予定している。

問 それらの防災無線で流す時報の音を、地元住民で作っ

た音楽や子どもたちの合唱を流すことはできないか。
企財 現時点では時報の音は音声でないほうが望ましいと考えている。

アメニティパーク丸山公園について

問 丸山公園の池に流れる滝が止まっているが、再開の計画はあるか。新しい観点・視点で見直していく必要があるのではないか。

金支所 滝全体が老朽化し、設備の故障や漏水などが発生したため、平成25年4月に停止した。修繕費用が高額であると同時に、稼働を維持していくための電気代・維持費など管理費が高額であると想定されるため、修繕を見合わせている。予算の範囲内で改善や効率化を検討していく。

問 今後の丸山公園をどのように運営していくのか。市長のビジョンは。

市長 非常に厳しい財政状況の中で、経費を抑制せざるを得ない状態である。しかし、広い視野を持って、今後の公園管理に取組んでいきたい。

定例会の録画配信を開始!



本会議の録画映像を「YouTube」で配信しています。
お好きな時にスマートフォンやタブレット等で視聴できます。

内容	二次元コード
開会 委員長報告・質疑 請願・陳情の採決 議案上程・提案説明	
一般質問	
議案に対する質疑 委員会付託	
委員長報告・質疑 討論・採決 閉会	

二次元コードから一般質問動画を視聴



氏名



スマートフォンやタブレット PC で
二次元コードを読み込んでください。

声の議会だより

目の不自由な方にも議会の内
容をお知らせするため、浅口は
るか会のご協力により議会だよ
りを音訳しています。

必要な方は社会福祉協議会へ
☎0865-44-7744

傍聴へお越しください

(市役所本庁舎3階)

傍聴は、議会に触れること
のできる最も身近な方法で
す。どうぞお気軽にお越し
ください。

なお、次回の12月定例会は、
12月6日9時30分から開会
予定です。

会議中、傍聴者はご自由に
出入りできますので、まず受
付を済ませてお入りください。
会議の日程は、11月下旬に
議会運営委員会で決定され、
ホームページで公表します。

表紙写真



今回は空手・剣道の武道を学
ぶ子どもたちを掲載しました。
スポーツ少年団は、青少年
の心と体を育てるために活動
しています。

喜びや楽しさを体験し、時
には、悔しさを経験すること
もあるでしょう。

活動を通じて、仲間との友
情を深め、協調性を育み、思
いやりの心を持った大人に成
長することを願っております。
写真提供のご協力ありがと
うございました。

応募してみませんか

市内スポーツ少年団等の活
動団体から、表紙に掲載する
写真を募集しています。

詳細は市議会事務局へ
☎0865-44-7010

広報特別委員会

委員長 石井由紀子
副委員長 早苗 ネネ
委員 妹尾 義信 斎藤 貴士
竹本 寛 冲原 有美
山下 周吾 藤井 立子

